

腎臓病と関節リウマチ 其のⅢ

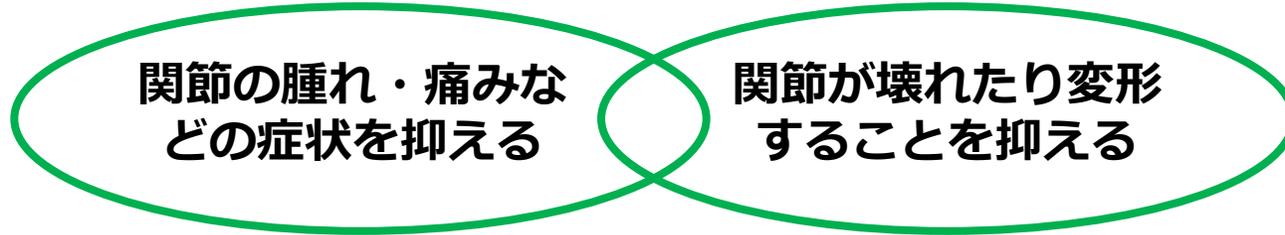
愛知医科大学
腎臓・リウマチ膠原病内科
野畑 宏信



- 今回は、関節リウマチと腎臓及び治療薬についてお話しします。
- 今回で、「腎臓病と関節リウマチ」のお話は終わりとなります。

治療薬

薬物療法の目的



治療薬の種類はいろいろ



メトトレキサートが治療の中心となりますが、近年では、生物学的製剤の登場によって、劇的にリウマチが良くなることが期待でき、関節破壊も抑えられるようになってきています。

関節リウマチと腎臓の関係

- 実は、関節リウマチが直接腎障害を起こすことはまれです。
たまたま、腎臓病がある人に関節リウマチが起きた、
または、関節リウマチの人に別の腎臓病(糖尿病性腎症など)が起きた
という方が多いと思います。
- しかし、腎障害は起こす原因として3つ考えられます。
 - ①関節リウマチによる腎障害。
 - ②続発性のAAアミロイドーシス。
 - ③治療薬による薬剤性腎障害。

①関節リウマチによる腎障害

- 関節リウマチが直接腎障害を起こす頻度はとても少ないです
- 腎臓の組織を確認(腎生検)すると、様々な変化(膜性腎症, メサンギウム増殖性腎炎, 半月体形成性腎炎)が起こっていることが報告されていますが. . .
- まずは別の原因を考えた方がよいでしょう.

②続発性のAAアミロイドーシス.

- アミロイドーシスとは、体の中で作られた蛋白質が、変化し溶けなくなり(アミロイド蛋白), 様々な臓器に沈着してしまい、臓器障害を起こす病気で、いくつか種類があります.
- 関節リウマチに関係するのは、「AAアミロイドーシス」というタイプです.
- 関節リウマチが長期間ちゃんと治療されないと、“炎症”が続き、アミロイドA蛋白が産生されてしまうために起こります. 関節リウマチから続発して起こるため、続発性AAアミロイドーシスと呼ばれます.
- AAアミロイドは、腎臓に沈着しやすく、蛋白尿が出現したり、腎機能がどんどん悪くなります.

③治療薬による薬剤性腎障害.

- 薬剤性腎障害とは、薬剤の副作用による腎障害です.
- 頻度としては、結局これが一番多いです.
- いわゆる痛み止め（鎮痛剤）の中で、NSAID(ロキソプロフェンやセレコキシブなど数種類ある)という最も処方される頻度が高い薬剤は、長期的に使用すると、腎機能を低下させる危険があります。痛みが治まればなるべく使用を控えます.
- その他、ブシラミンという薬剤は蛋白尿を起こすことがあり、腎機能低下の原因となります.

最後に

- 関節リウマチの治療薬は、腎障害があると制限されるものが多く、治療に難渋しやすいです。知らずに使用すると思いもよらない副作用が出てしまいます。
- 薬は、必ず副作用というリスクがつきまといますが、薬剤の特性を知って、患者さん腎機能や肺機能、肝機能など全身の状態を把握していれば、リスクを最小限にして、最大限の効果が得るように使用することができます。